

技能評価制度で優位に！日々のしごとにも役立つ 登録建築大工基幹技能者講習

登録基幹技能者は、技能評価で上位の資格です。また、経営事項審査の加点や資格手当のある企業従事者は、年収の増加につながります。

大工職の上級
職長として活
躍する人

建設技能評価制度
でレベル4をめざ
す人

現場の要でがん
ばる人

受講資格※申込書で詳細をご確認ください。

大工の実務経験
10年以上、うち
3年以上の職長
（棟梁）経験者

一級建築大工技
能士・建築施工
管理技士などの
有資格者

職長・安全衛生
責任者教育の修
了者（修了していな
くても受講可）

日時

2020年2月7～8日（金・土）

1日目：9時30分～16時50分 2日目：9時～16時20分

※遅刻・早退厳禁 ※修了は2日目に行われる試験の合格が条件

※講習日より3週間前のキャンセルは受講料の返金がされません

定員

70名

会場

全建総連会館（新宿区高田馬場2-7-15）

金額

44,000円

（修了証発行後、どけん共済・全建総連の資格取得祝い金が申請できます）

締切

2020年1月7日技術センター必着（定員になり次第締切）

詳細・申込方法は所属の支部までお早めにお問い合わせください！

注意

※申込書類は申込書など指定書式の記入だけでなく、住民票や資格証のコピーなど複数の資料が必要です。申込を検討されている方は、所属支部にすぐのご連絡をお願いします。

※この講習は大工職専用です。その他の職種の登録基幹技能者講習については（一財）建設業振興基金のHPをご確認ください。

建築大工の能力評価基準

レベル4

- ・10年以上の実務経験、うち3年以上の職長経験が必要
- ・必須資格は登録建築大工基幹技能者、建設マスター、現代の名工などからいずれか保有とレベル2・3の資格要件

レベル3

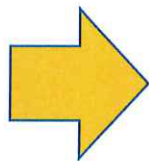
- ・7年以上の実務経験、うち6か月以上の職長又は班長の経験が必要
- ・必須資格は1級/2級建築大工技能士、枠組壁建築技能士、1級/2級建築施工管理技士、一級/二級/木造建築士、足場/鉄骨/木建といった作業主任者講習などから2つ以上の保有とレベル2の資格要件
- ・職長・安全衛生責任者教育の受講がのぞましい

レベル2

- ・3年以上の実務経験が必要
- ・必須資格は丸のこ等取扱作業者安全衛生教育と、足場の組立て等作業従事者特別教育または足場の組立てなど作業主任者技能講習の保有

レベル1

- ・建設キャリアアップシステムに技能者登録され、かつレベル2～4までの判定を受けていない技能者



レベル4取得のためには
・登録基幹技能者となること
・丸のこ等取扱作業者安全衛生教育
・足場の組立てなど作業主任者技能講習
が近道です！

全木協では建築大工のレベル別賃金を2021年4月より導入予定

全木協は災害時に応急仮設木造住宅の建築を請け負っています。その際の建築大工の日額賃金に能力評価賃金を導入する予定です。当該年度の公共工事設計労務単価をレベル2の賃金とし、レベルごとに3000円を減算・加算見込です。

～技能評価や現場のマネジメントの理解を深めるために～

建設業者マネジメントスキル向上特別講習

能力評価基準が認定された職種で中堅～職長クラスの技能者を対象とした、(一財)建設業振興基金が主催する講習です。

現場のマネジメン
トや建設業の最新
情報が学べる

受講料無料
1時間の映像講座

5万人限定で能力評
価手数料、カード更
新手数料免除！

※2020年3月まで専門工事事業団体ごとに計画されます。次回日程は未定ですが、全建総連でも開催を予定しています。日程が確定次第、各支部へお知らせしますのでご確認ください。